

## ■活動成果発表、目次

### 1. 野原准教授より

伊豆長岡地域のまちづくりを考える ～温泉駅を中心とした公×民×学連携都市再生～

### 2. 都市計画研究室学生より

1. 横浜国立大学都市計画研究室、これまでと今年度の活動内容
2. 温泉駅（バスターミナル）の現状
3. 活動成果報告
  - ① 「生活」の①-1 ポテンシャル調査⇒①-2 アイデアカード提案+投票結果
  - ② 「健康」の②-1 ポテンシャル調査⇒②-2 アイデアカード提案+投票結果
  - ③ 「観光」の③-1 ポテンシャル調査⇒③-2 アイデアカード提案+投票結果
4. まとめ

## ■横浜国立大学都市計画研究室、今年度の取組について

### 伊豆長岡地域のまちづくりを考える ～温泉駅を中心とした公×民×学連携都市再生～

今年度は、温泉駅をまちなか拠点として再生していくにあたって、「生活&生業」「健康」「観光」という3つのテーマに焦点を当て、それぞれにおいて伊豆の国市および伊豆長岡地域の特徴について調査分析を行い、本当に必要な機能や居場所と、どんな対象にも魅力となる施設や空間のあり方を考えました。特に、上記の3つの視点で、「温泉駅」をまちなか拠点施設を考える重要なポイントとして位置づけるとすれば、一体どんなものが必要となるかということも踏まえてまちなか拠点の可能性について考えてきました。

具体的には、3つのテーマについて、それぞれ地域のリソース分析によるポテンシャル調査とそこから明らかになったポテンシャルを活かしたアイデアカード提案を行いました。また、アイデアカードについては「お散歩市」を活用して、そこに訪れた人々に気になるアイデアに投票してもらう形（一人につき3票）で潜在ニーズを投票行動から拾い上げることも同時に行いました。

### ■温泉駅（バスターミナル）の現状

- ・温泉駅（バスターミナル）は、都心と本市をつなぐ高速バスや地域内を回るバス交通、タクシーが集まる交通結節点である。しかし、地域の重要な結節点でありながら、バスの停留場は低未利用地となっています。
- ・現在は、毎月第2日曜日に温泉場出逢い通りで開催されている「お散歩市」と連動して、スタンプラリーやカフェ、古本市場が行われています。また、平日利用も少しずつ行われており、拠点としての再生に向けて取り組まれている。

## ■活動成果報告（学生側）

### 1. 生活&生業

#### ●地域リソースの分析によるポテンシャル調査

「生活&生業」では、住んでいる人々と働いている人々の関連する観点とそれらの人々の暮らしを支える機能やサービスの観点に着目、分類をしていきました。具体的には、

- ・住んでいる人々の属性：【高齢者視点/子育て世代視点/中高生視点】

- ・働いている人々の属性：【農業従事者/医療従事者】
- ・暮らしを支える機能やサービス：【生業・商い/移動しやすさ】

これら7つの観点を設定し、ポテンシャル調査を行いました。

### ●ポテンシャルを活かしたアイデアカード提案+投票結果

4つのテーマ分類では、

- A：「生活サービス」⇒【日々の暮らしに必要なサービスの提案】
- B：「世代別サービス」⇒【子どもや子育て世代、高齢者など世代ごとに異なるニーズに答える提案】
- C：「あきないとなりわい」⇒【温泉駅周辺で商いを始めようとしている人や興味のある人向けの提案】
- D：「まちづくり」⇒【周辺のまちなか再生を視野に入れた提案やモビリティサポート、広場などの提案】

に分類し、提案を行いました。

## 2.健康

### ●地域リソースの分析によるポテンシャル調査

「健康」では、医療や福祉といった既に存在し活用されている「健康」に係る資源と、今後「健康」を軸にまちづくりを考えていく際に重要になると考えられる資源に着目、分類をしていきました。具体的には、

- ・「健康」に係る資源：【地域医療・順天堂大学医学部附属静岡病院/福祉】
- ・「健康」を軸にまちづくり資源：【食と農/温浴施設（伊豆長岡温泉）/運動・スポーツ/歩きやすさ】

これら6つの観点を設定し、ポテンシャル調査を行いました。

### ●ポテンシャルを活かしたアイデアカード提案+投票結果

4つのテーマ分類では、

- A：「食生活」⇒【食のポテンシャルを活かした健康になれる提案】
- B：「運動・スポーツ」⇒【運動やスポーツを通して健康になれる提案】
- C：「医療福祉サービス」⇒【医療・福祉に関連し、病気の状態や度合に応じた提案】
- D：「ヘルスケアサービス」⇒【健康についての知識や意識を高めてもらうための提案】
- E：「ウェルビーイングサービス」⇒【生活の健康面から豊かにしていく提案】

に分類し、提案を行いました。

## 3.観光

### ●地域リソースの分析によるポテンシャル調査

「観光」では、市内の観光動向を捉えるとともに、市内にある観光に関する資源に着目、分類をしていきました。具体的には、

- ・市内の観光動向：【市内の観光客数など/モビリティ（市外との移動、レンタサイクル）】
- ・市内の観光に関する資源：【自然/温泉旅館（伊豆長岡温泉）/歴史・文化（歴史遺跡、芸妓文化）】

これら5つの観点を設定し、ポテンシャル調査を行いました。

### ●ポテンシャルを活かしたアイデアカード提案+投票結果

5つのテーマ分類では、

- A：「温泉系」⇒【温泉街としてのポテンシャルを活かした提案】
- B：「歴史・文化系」⇒【歴史や文化の関連するポテンシャルを活かした提案】
- C：「自然アウトドア系」⇒【豊富な自然のポテンシャルを活かした提案】
- D：「ニューツーリズム系」⇒【今まで観光とされてこなかった分野や資源を観光に活かした提案】
- E：「食と農系」⇒海や山などから採れる豊富な食材を活かした提案

に分類し、提案を行いました。